

(一般社団法人)大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアム
令和5年度 第2回ナノ理工学情報交流会
「サステイナブル社会実現に向けて」

本年度第2回目のナノ理工学情報交流会を開催いたします。産学双方の意見交換の場として、コンソーシアム会員をはじめ、ご関心をお持ちの多数の方々のご参加を歓迎いたします。

主催: (一般社団法人)大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアム
共催: 大阪大学エマージングサイエンスデザインR3センター、
大阪大学産業科学研究所産業科学ナノテクノロジーセンター

開催日時: 令和5年8月31日(木) 13:00~17:20

開催場所: 大阪大学豊中キャンパス 文理融合型研究棟3階305号室

遠隔配信地: 四日市商工会議所サテライト教室
また、オンラインでの配信も予定しております。下記に記載している事務局まで、参加のお申込みをお願い致します。ご指定のメールアドレスに情報交流会参加の招待メールを送付致します。

開催趣旨: 現在、世界中の人々が共通の目標として「持続可能な社会の実現」に向けての取り組みを進めている。しかし、その実現は容易ではなく、技術的課題の解決はもとより、数多くの社会問題との整合を図る必要がある。今回の交流会では、サステイナブル社会を具現化するための技術と共に、今後の施策に関しても議論をする。

費用: コンソーシアム会員、学生及び大阪大学教職員は無料。
(コンソーシアム企業会員の場合、社内から何名でも無料で参加が可能です。)
四日市市商工会議所、けいはんなR&Dイノベーションコンソーシアム会員、
大阪商工会議所の技術・事業開発研究会及び環境・エネルギービジネス研究会の
会員企業、日本オプトメカトロニクス協会の会員企業は無料。
上記以外の参加者は資料作成費として5,000円/人を頂戴致します。

参加登録: 氏名、所属、参加会場あるいはオンライン参加、連絡先住所を記載の上、メールにて大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアム事務局へお申込み下さい。

E-mail: nano-cons@nanoscience.or.jp

HP: <http://www.nanoscience.or.jp/>

登録締切: 令和5年8月24日(木)

問い合わせ: 大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアム事務局
TEL:06-6853-6859(FAXと共通)

[講演プログラム]

13:00 13:10	開会挨拶 大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアム 代表理事 伊藤 正
13:10 14:10	ポリエステルケミカルリサイクル・アップサイクル 野村 琴広 氏（東京都立大学 理学部 教授） 本講演では、均一系・不均一系触媒を用いる各種ポリエステルのアルコール分解に関する最近の成果を紹介する。特にチタン触媒により各種アルコールとの反応が定量的に進行し、つづく重合により別のポリマーへの効率変換が可能になった。本研究は、分解・リサイクル可能なバイオベースポリエステルの開発の途上で見出したもので、触媒技術は広くポリエステルの効率化学変換に展開できる。本講演ではポリマーの開発状況についても紹介する。
14:10 15:10	CO₂分離回収技術の開発 木下 朋大 氏（公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 化学研究グループ 主任研究員） 2050年にゼロエミッションを達成するためには発電所や製鉄所などの固定排出源はもちろんのこと、大気中からもCO ₂ を回収する必要があるとされている。しかしながらCO ₂ の濃度や圧力、温度などは排出源によって異なり、1つの技術で全てに対応することはできない。そこで本講演ではCO ₂ 分離技術の代表的な手法とRITEにおける各種技術の研究開発状況について紹介する。
15:10 15:20	(休憩)
15:20 16:20	ダイセルの『セルロース』 浅井 種美 氏（株式会社ダイセル バイオマスイノベーションセンター 副所長） 「セルロース」が木に由来していることを知っている人は意外に少ないが、「セルロース」を基にした用途が、医療や半導体製造など非常に多岐にわたっていることを知っている人はもっと少ない。本講では、バイオマスバリューチェーン構想とも関連付けながら、セルロース由来の材料とその用途について、主に現在と未来の切り口で解説する。
16:20 17:20	我が国の資源循環経済政策について 吉川 泰弘 氏（経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課 総括補佐） 近年では、廃棄物問題や気候変動問題に加え、世界的な資源需要と地政学的なリスクの高まりといった資源制約の観点から、資源の効率的・循環的な利用と付加価値の最大化を図る、「サーキュラーエコノミー」への移行が喫緊の課題となってきています。これまで主に廃棄物処理や3Rの観点で進めてきた資源循環を、経済活動として進めていく意義が高まっており、本講演では、我が国の資源循環経済政策の最新の動向についてご紹介します。

オーガナイザー:コンソーシアム企画運営委員

沖野 剛史	(株)東芝
辻 良太郎	(株)カネカ
前田 和幸	住友電工(株)
鈴木 啓悟	(株)村田製作所
稲垣 克敏	JSR(株)
山木 健之	パナソニック(株)
伊藤 正	大阪大学
宮坂 博	大阪大学
藤岡 透	大阪大学